

JARL CONTEST REVIEW

Field Day Contest 3 -4, August 2002

総評 野外でITを駆使するフィールドデーコンテスト
ドナー楯
入賞者レポート

- 電話部門シングルオペニューカマー 1位 JO7GNI/7 相原 裕昭
- 電信電話部門シングルオペオールバンド優勝 JM1LRQ/1 荒井 伸之
- 電信電話部門シングルオペ 14MHz バンド優勝 JE4MHL/4 手島由裕
- 電信電話部門シングルオペ 28MHz バンド優勝 JE8FGY/8 岩井 信行
- 電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド関東 1位 JR1ERU/1 千野公久
- 電信電話部門シングルオペ 144MHz バンド東海 1位 JO1ZRT/2 ハムランド AMC
- 電信電話部門マルチオペオールバンド優勝 JR0UUU/1 井原一高
- 電信電話部門マルチオペオールバンド 2位 JI2ZLX/1 恵麓コンテストクラブ
- 電信電話部門マルチオペオールバンド 3位 JK1YMM/2 寝てはいけないコンテストクラブ

電子ログデータに見る QSO 分析
意見・コメント

総評 野外で IT を駆使するフィールドデーコンテスト

JARL コンテスト委員会

野外移動運用を堪能するフィールドデーコンテストが 8/3~4 の日程で開催されました。いつものシャックを離れて、ANT 設営などを行う移動運用は、一味違う無線の醍醐味を味わうことができるものです。

今年は比較的天候に恵まれた方だと思われませんが、地域によっては、一時的に豪雨に見舞われたり、落雷の恐怖におののいたこともあったかもしれません。このような大自然の中で、無線機やパソコンネットワークなどの IT を駆使することのギャップの面白さも、このコンテストの面白さかもしれません。昨今は、パソコンによるロギングも増えてきていますので、無線機だけでなくパソコンも持ち出すこととなり、大掛かり

になってきているようです。またマルチオペの場合は、LAN を敷設して、ネットワークを組む事まで行われています。

アマチュア無線は、技術的な興味に基づき、様々な実験を行っていくものですが、野外運用という特殊な環境において機器を稼働させていく技術ノウハウも、コンテストとして、切磋琢磨するに値する領域であると考えます。

さて、コンディションの方は、ローバンドは比較的好調であったように感じました。しかし、一部空電ノイズが強かったようで、コピーするのに大変だったようです。ハイバンドの開け具合は、今ひとつであったようです。大きなオープンはなく、スカッター気味のギリギリの QSO が続いたよ

うです。終了間際になって、各バンドコンディションが、あがり、一気に局数マルチを増やせた事でしょう。

V/U/SHF は、やはりコンテストですので各バンド賑わったようですが、遠距離マルチの取得は困難だったようです。

移動運用では様々なトラブルもありますが、今思い返すと、よい経験、思い出に変化しているのではないかと思います。2003 年も着実に夏に向い、フィールドデーコンテストの時期が近づいてきますが、設備の準備、体調の管理のほか、緊急時の対処法なども含めて、万全で臨んでいただけたらと思います。

ドナー盾

今回のコンテストでは、下記の方にドナー楯が贈られました(カッコ内ドナー)。

- 電話部門シングルオペ・ニューカマー種目全国 1 位 JO7GNI/7 (7N4JZK)
- 電話部門シングルオペ・ニューカマー移動局全国 1 位 JO7GNI/7 (アウトドア・JG1KTC)
- 電信部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国 1 位 JQ3NSU/3 (JI1ACI)
- 電信部門シングルオペ・オールバンド種目 QRP 全国 1 位 JA2QAO (JJ6TWQ)
- 電信部門シングルオペ・オールバンド種目 QRPp 全国 1 位 JA1NHM (JF3AOK)
- 電信電話部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国 1 位 JR1ERU/1 (JA1AN)
- 電信電話部門マルチオペ・オールバンド種目全国 1 位 JR0UUU/1 (Japan DX Association)